

# HF50CX

## 取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、必要ときに読めるようこの取扱説明書は大切に保管してください。

### 注意

事故を防ぐために、以下の注意事項をお守りください。

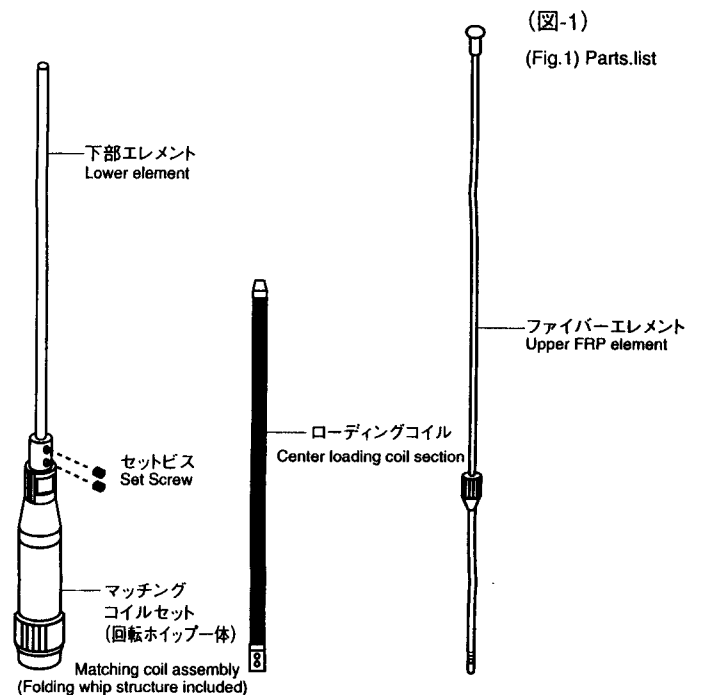
- ①ネジ・ビス類は、振動などでゆるむことがあります。お使いになる前に確認し、ゆるんでいるようなら締めなおしてください。
- ②強い衝撃を受けるとアンテナが破損し、落下して大変危険です。走行のときは、枝などの障害物に十分注意してください。
- ③ディーゼル車などの激しい振動により、アンテナが破損することがあります。できるだけ振動の少ないところを選んでアンテナを取り付けてください。
- ④送信中のアンテナに触ると感電することがあります。停車中に運用するときは、アンテナの近くに人がいないことを確認してください。
- ⑤アンテナを倒したまま走行しないでください。事故の原因になります。
- ⑥車の幅・全長を超えない、人体に触れにくいところに取り付けてください。
- ⑦使用する前にはアンテナの周波数調整を行ってください。未調整のまま使用すると、無線機が故障する原因となります。
- ⑧雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには絶対手を触れないでください。感電の原因となります。
- ⑨アンテナを倒したまま駐停車しないでください。事故の原因になります。
- ⑩アンテナを固定するのに十分強度のある場所を選んでください。アンテナが倒れたりして車体が破損します。

### ●特徴

- ①軽量でスリムなデザインに仕上げました。
- ②トップエレメントには、軽くてしなやかなファイバー製テーパーエレメントを採用。障害物による破損を防ぎます。
- ③調整はエレメントをスライドさせるだけで簡単。エレメントをカットする必要がありません。

### ●部品構成

「部品が全部そろっていることを確認してください。」



### ●設置場所

このアンテナは車載専用設計されています。ベランダ等の接地条件の異なる場所に設置した場合にはSWRが下がらない可能性があります。

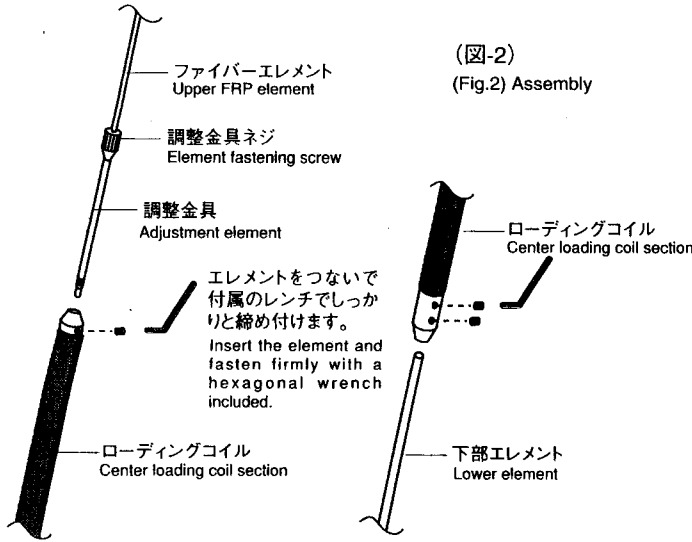
### 異常があればただちに発射を中止

V. SWRが高いまま送信を続けるとトランシーバーなどの機器を破損するおそれがあります。ただちに電波の発射をやめ、販売店または弊社までご相談ください。

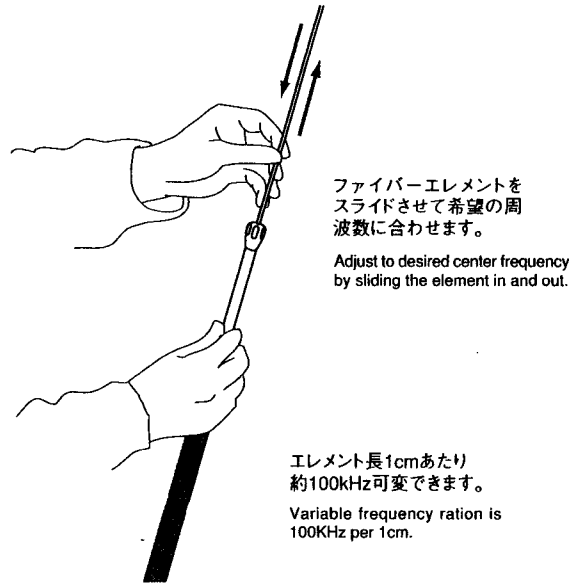


### ●組立方法

- ①パッケージには下部エレメント、ローディングコイル、ファイバーエレメントが分割されて入っていますのでこれらを図のように組立ます。
- ②ファイバーエレメントは約10cm スライドします。最短の状態から5cm 伸ばして調整をはじめてください。
- ③希望の周波数に調整されたら、調整金具のネジをしっかりと締め付けます。

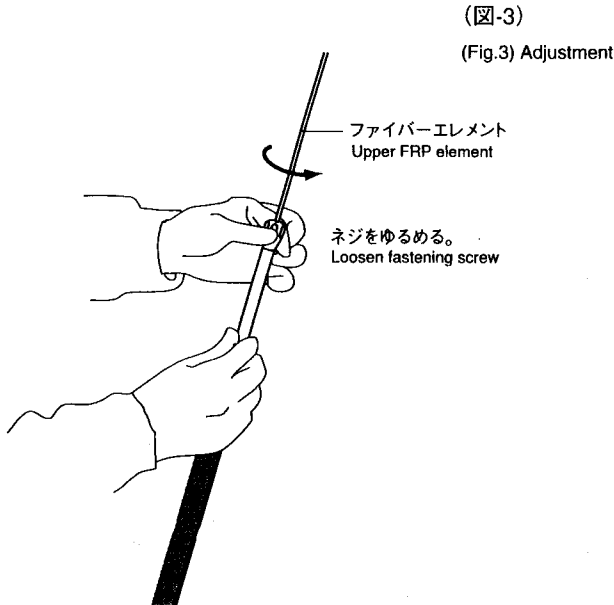


- ②ファイバーエレメントの長さにより周波数が変化します。エレメントを伸ばすと共振周波数が下がり、逆に縮めると共振周波数は上がります。通常の使用状態では、ファイバーエレメントを中間（最短から約5cm 伸ばす）にしたときに、50.7MHz 付近がSWR 最良点となるように設定しています。



### ●調整方法

- ①周波数の調整は、調整金具先端に付いているネジをゆるめ、ファイバーエレメントを伸縮して行います。



- ③調整する場合は次のことに注意してください。
  - ・送信中はアンテナに手を触れないでください。感電することがあります。
  - ・このアンテナは取り付け場所によってSWRが変わります。必ず実際に運用する状態で調整を行ってください。
  - ・まわりに障害物や電線がなく、他の車や歩行者の通行の妨げにならないところで行ってください。
  - ・橋の上や立体駐車場など、車の下に空間があるところでは、対地間容量が不足して正しい調整ができないことがあります。
  - ・調整は、他局の妨害とならないように「少ない電力で短時間」に行ってください。
  - ・車のボディをアースに利用した接地型アンテナです。良好な接地が得られないと効率が低下するだけでなく、たたく調整できないことがあります。

☆52MHz～54MHzに調整する場合には下部のエレメントをカットします。下部エレメントを50ミリカットすると共振周波数を1MHz高くすることができます。下部エレメントをカットする場合には、必ずファイバーエレメントを中間に設定してからカットする寸法を決めてください。

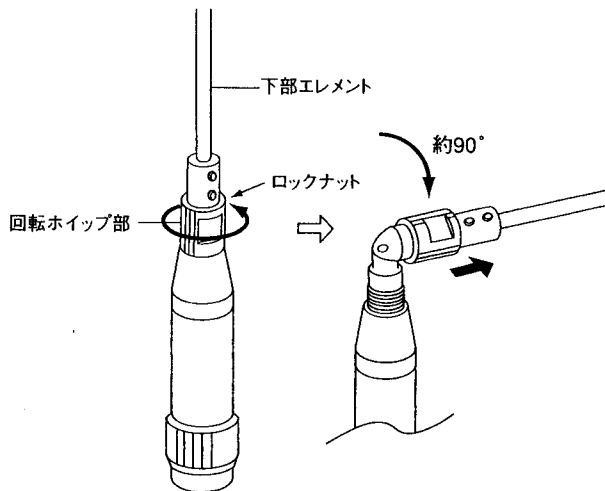
To adjust frequency coverage of the antenna to cover from 52MHz to 54MHz, trim lower whip element. Trimming the lower element 50mm will raise resonant frequency of the antenna up 1MHz higher. Before trimming the lower element, be sure to set upper FRP element to medium length.

### ●エレメントの倒し方

- ①ロックナットを緩め、エレメントと一緒に引き上げます。
- ②完全に止まるまで静かに倒しこみます。

## ⚠ 注意

- ①倒したアンテナは自由に回転しますので、倒したままの走行はおやめください。事故の原因になります。
- ②アンテナを倒したときに、アンテナの先端が車体の外に出る場合には倒すのを止め、アンテナを取り外してください。事故の原因になります。

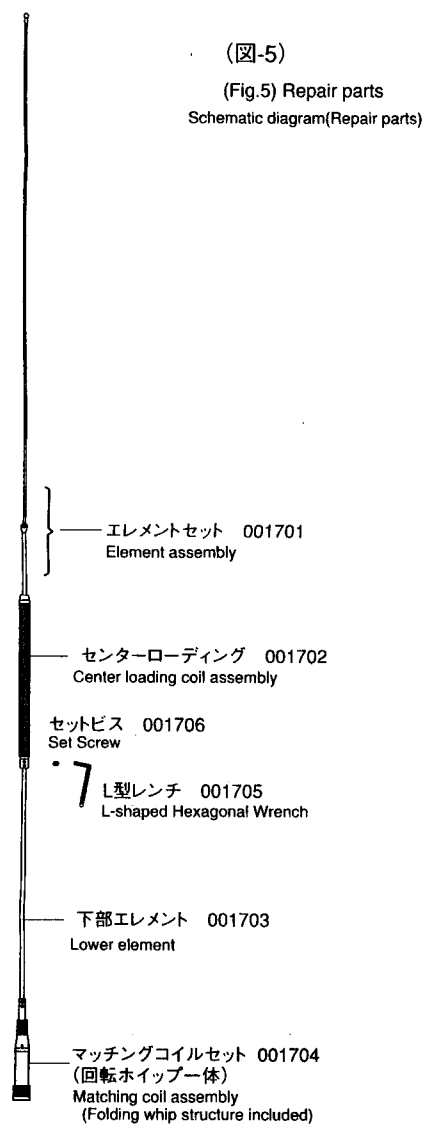


●エレメントの立ち上げ方

- ①エレメントをまっすぐに立てロックナットを指先で軽く締め付けます。
- ②スパナ等で1/8回転(45°)増し締めします。

●外觀図(補修部品)

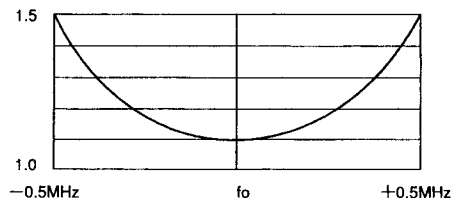
万一アンテナの一部が破損した場合などは、図の中の補修部品番号で販売店にお申し付けください。(有料)



●お手入れ

定期的な汚れをきれいに拭き取ってください。ただしシンナーやベンジンなどでは拭かないでください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。

●VSWR表



●送信空中線の型式

アマチュア局の免許申請書類の空中線型式には、「垂直型」とご記入ください。

●規格

- 周波数：50MHz帯
- 耐入力：200W(SSB)
- インピーダンス：50Ω
- VSWR：1.5以下
- 全長：1.8m
- 重量：440g
- 接栓：M形
- 形式：3/8λセンターローディング

■お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などによる破損がありましたら、販売店にお申し付けください。

■アンテナに仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

2000年7月 初版発行  
©2000第一電波工業株式会社

Printed in Japan